

(2) 質問・意見

○このサークルモードをやった後に、自由に対話するとした時に、自分から活動できるのか。

⇒自由には、活動していないのでわからない。

○小学校では、男子と女子ができるような工夫をしたい。会話の練習には、有効だと思う。

○サークルモードをやってみたが、最初は良かったが、そのうちに飽きてしまう様子が見られた。

自由な対話活動でも、3人の女子と2人の男子などと条件を付けていくのもよい。

③ 小学校英語活動をふまえ、中学校とどう連携していったらよいか

(1) 須坂小学校から：ゲームをしながらアルファベットを覚えていった6年生

3つのアルファベットで完成せする英単語の中から、真ん中に来るアルファベットを当てさせるゲーム。楽しみながら、忘れがちなアルファベットを覚えるようにしている。

(2) 高山中学校から：小学校での英語活動の内容を知った上で、既習事項を生かし、早い時期に英語でのスピーチ活動を行った中学1年生

小学校での各児童の英語活動への取り組みの様子や関心・意欲についての情報を得ておくと、それを踏まえて指導できてよい。

(3) 質問・意見

○小学校で、コミュニケーション能力を活発にさせる努力をされているが、中学校では、受験もあり、どうしてもそれは後回しにしてしまいがちである。しかし、さらに高める努力をしていきたいと思う。

④ 英語や異文化に対し、興味・関心を持たせる手立ての工夫

(1) 須坂小学校から

ALTが紹介したハロウィンのお祭りをたのしむ子どもたち（3年）

ALTに動物の鳴き声が国によって違うことを教えてもらい、驚く子供たち。（4年）

(2) 質問・意見

○中学校では、教科書に目がいき、異文化に目を向けさせる機会は少ない。異文化の言語として目を向けさせていくことが大切である。

4 来年度への課題

○小学校で本格的に英語活動が実施されることで、小学校と中学校との連携がさらに必要となる。年間計画に予定されている研究会以外にも中学校区独自での情報交換の場を設定したり、年間指導計画を交換しあったりすることが求められる。小学校同士での情報交換も必要である。

○本年度の実証授業は、ALTなしの、担任一人で行う授業にこだわったが、授業時数のほとんどを担任一人で行うことを考えれば、英語ノート主体の授業が多くなる。その活用について引き続き考えていきたい。また、ALTとのチームティーチングについては、授業の中でどうALTの存在を活かしていくか、その効果的活用についても継続して研究をしていきたい。